

第4次 士別市農業・農村活性化計画の中間評価 アンケート調査結果報告書

令和 7 年 2 月

士別市経済部農業振興課

【調査目的】

第4次士別市農業・農村活性化計画（以下「活性化計画」という。）の策定から2年が経過したことを受け、農業者の各種取り組み状況等を把握し、活性化計画の中間評価を行うことを目的にアンケート調査を実施した。

【調査対象者】

令和6年度経営所得安定対策事業の申請予定者 470名

【調査方法】

経営所得安定対策事業における申請前図面の発送時に中間評価アンケート調査票を同封し、申請前図面の回収と併せて調査票を回収した。

【調査期間】

令和6年5月30日～7月31日

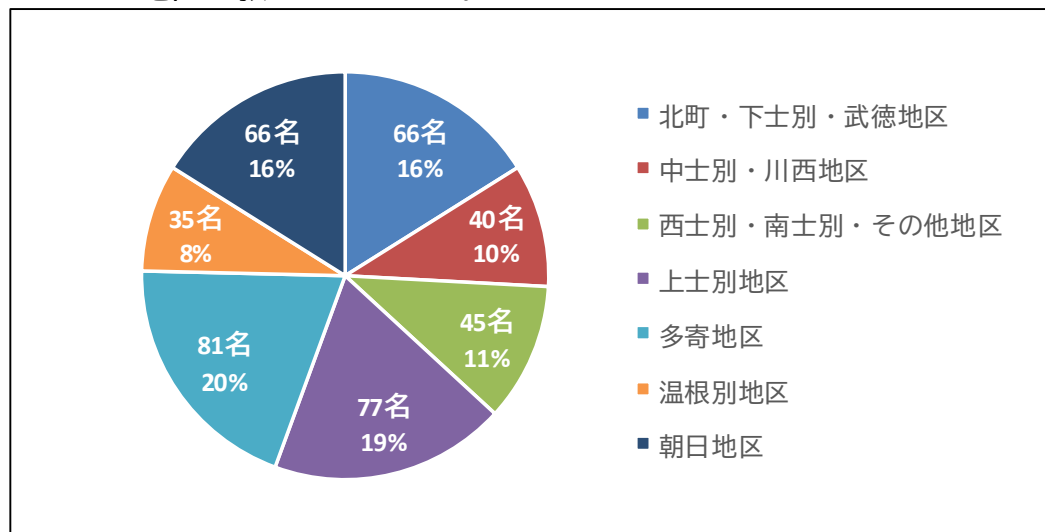
【調査票の回答状況】

回答者数 410名（うち酪農・畜産回答者数 54名）

回答率 87.2%

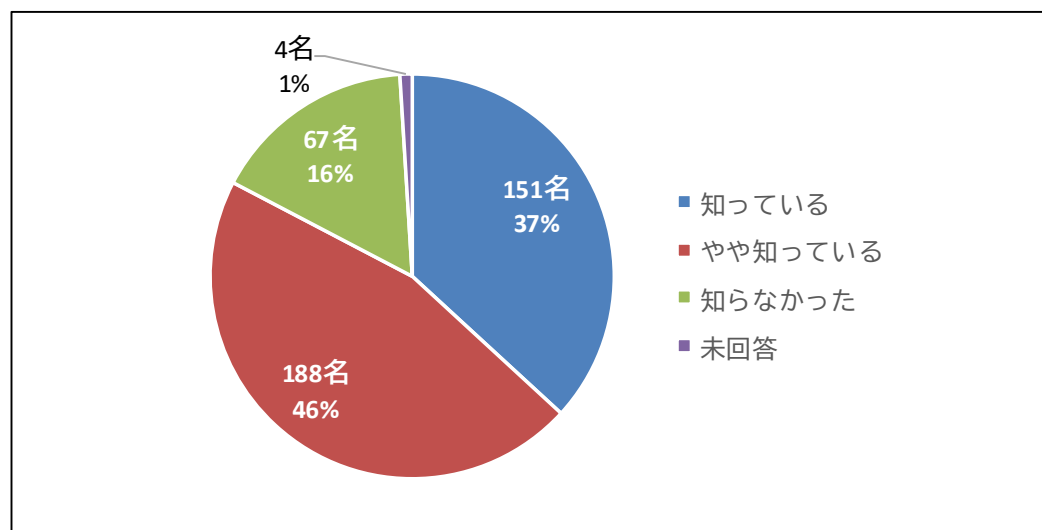
【設問１】

あなたの地区を教えてください。



【設問２】

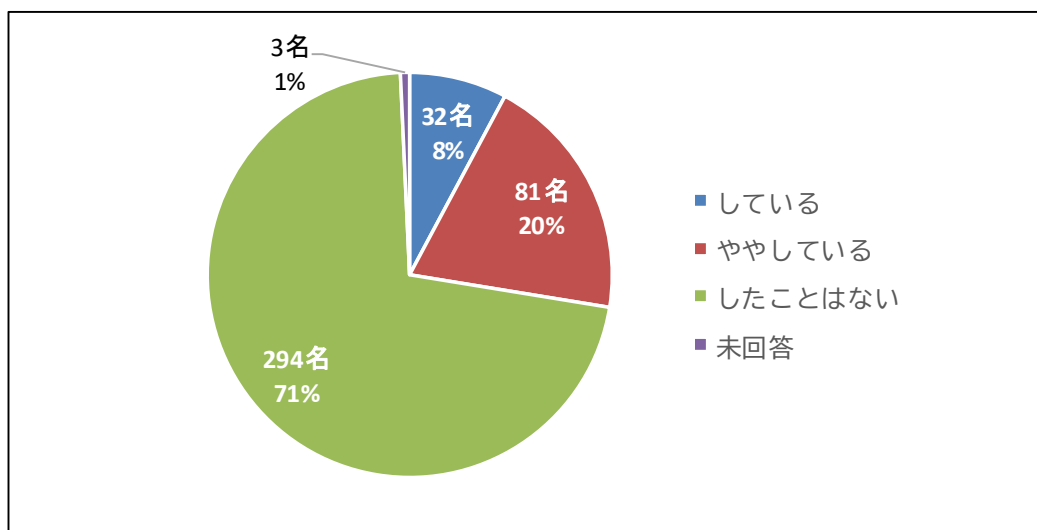
本市では、これまで担い手の確保・育成に関する取り組みとして、地域おこし協力隊制度を活用した農業研修者の募集や市ホームページ等を通じた農業研修者に関する活動状況の情報発信、関係機関への訪問など PR 活動を行ってきました。あなたは、これらの取り組みを知っていますか。



「知っている」、「やや知っている」が83%を占めており、新規就農者確保のための情報発信は、一定程度推進できている。

【設問3】

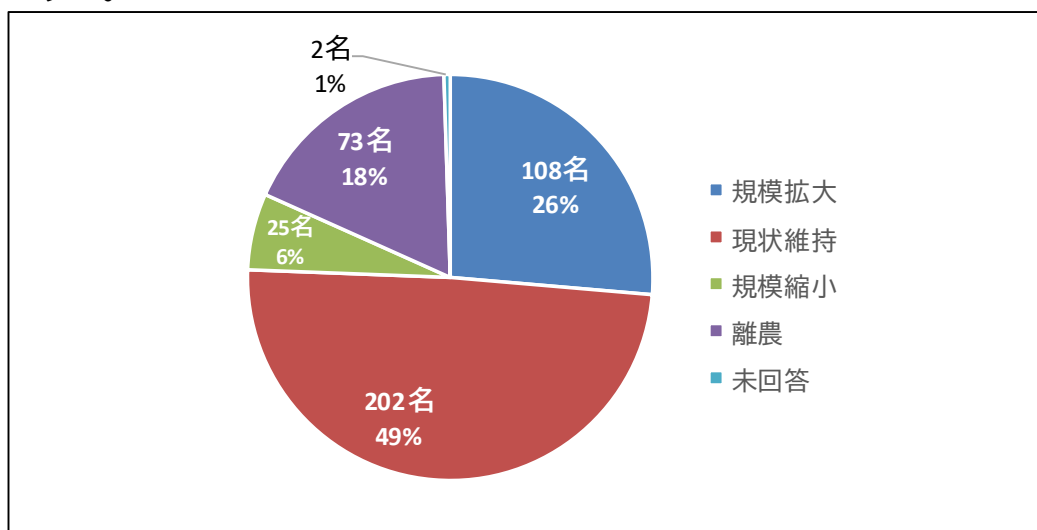
あなたの地域では、過去3年程度の間に、次代の担い手となる農業研修者の受入れについて、話し合いをしたことはありますか。



「したことはない」が71%を占めていることから、引き続き、各地区の受入農家協議会の立ち上げや土別市担い手支援協議会との連携に向けて働きかけを行っていく必要がある。

【設問4】

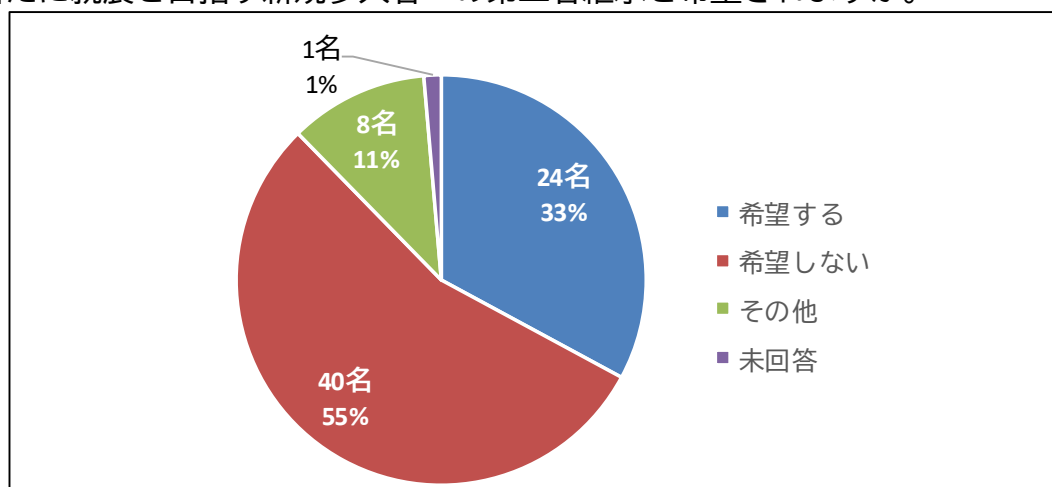
ご自身の農業経営について、今後（1～5年程度）どのようにしようと考えていますか。



「規模拡大」や「現状維持」が75%を占めているが、「離農」が18%を占めていることから、引き続き、担い手対策を推進していく必要がある。

【設問5】

設問4で「④ 離農」と回答された方にお伺いします。あなたは、離農の際に、新たに就農を目指す新規参入者への第三者継承を希望されますか。

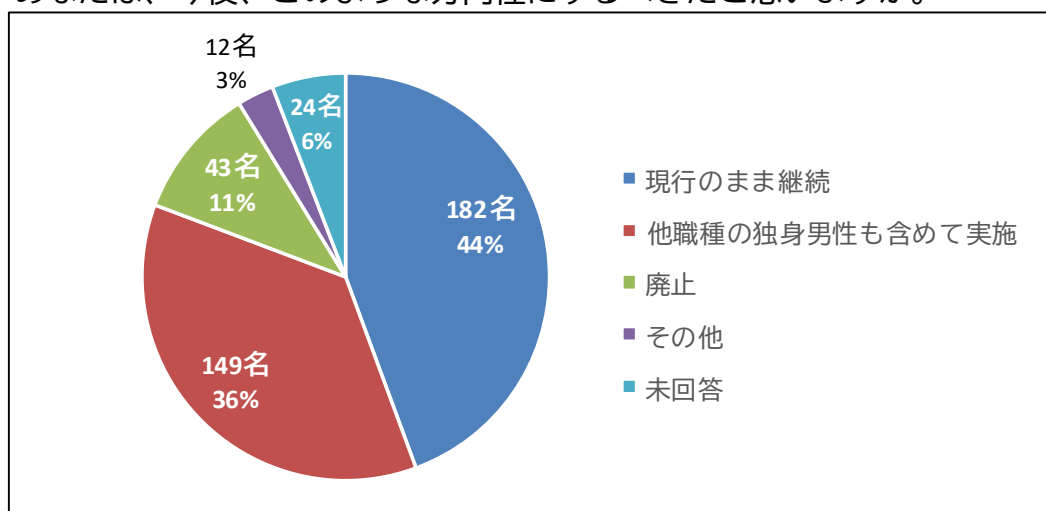


「希望する」が33%を占めていることから、第三者継承に向けた取り組みについて、関係機関と連携する中で推進していく必要がある。

【設問6】

本市では、これまで独身男性農業者の配偶者対策として、グリーンパートナー推進事業を実施してきましたが、近年では、男性参加者数の減少や固定化が続いているのが課題となっています。

あなたは、今後、どのような方向性にするべきだと思いますか。



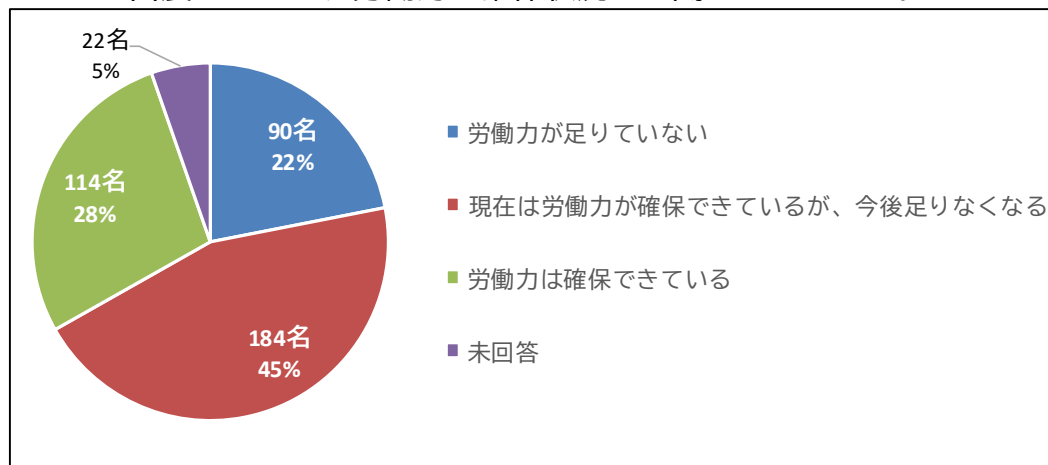
「現行のまま継続」が44%を占めているが、「他職種の独身男性も含めて実施」や「廃止」を併せると47%を占めていることから、事業の在り方について検討していく必要がある。

【設問 7】

本市では、一部地域でファームコントラクターの設立や北ひびき農協による馬鈴薯の作業受委託など労働負荷の低減に向けた取り組みが推進されています。

また、大和牧場の効率的な運営や酪農ヘルパー利用促進による労働力の確保にも取り組んでいます。

あなたの営農における、労働力の確保状況をお聞かせください。

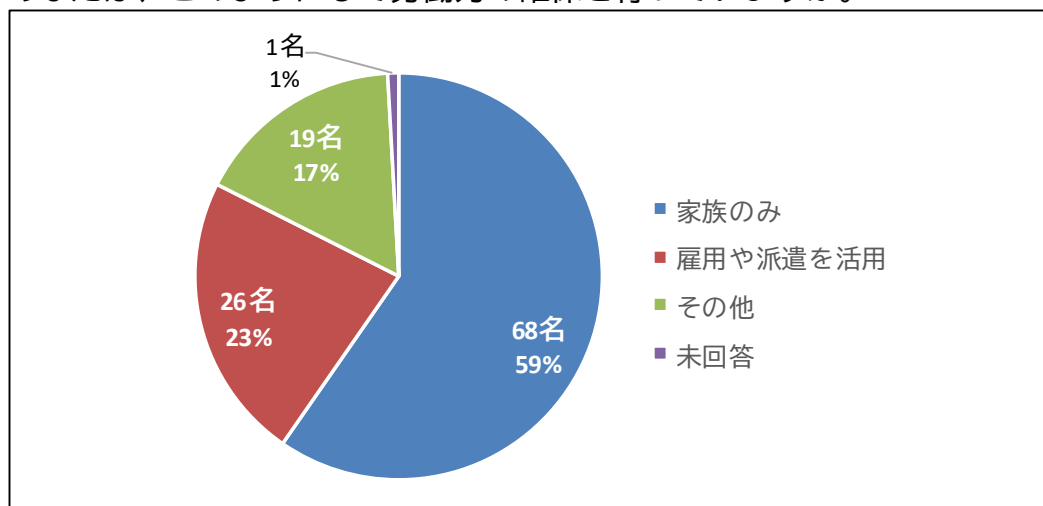


「労働力が足りていない」、「今後足りなくなる」が67%を占めていることから、労働力支援の在り方について検討していく必要がある。

【設問 8】

設問 7で「③ 労働力は確保できている」と回答された方にお伺いします。

あなたは、どのようにして労働力の確保を行っていますか。

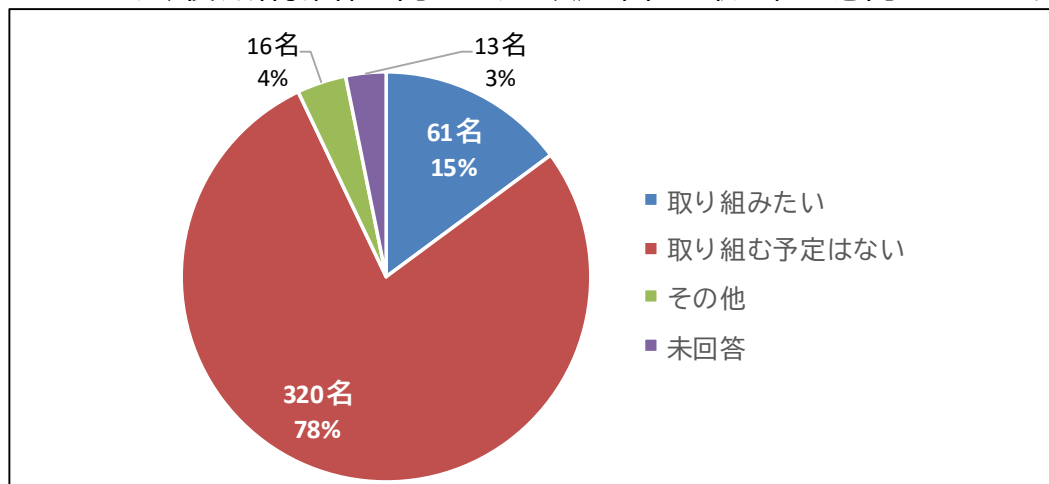


「家族のみ」が59%を占めていることから、高齢化が進むにつれて、労働力不足になることが懸念される。

【設問 9】

6次産品等の販売・PRの推進については、道の駅「羊のまち 侍・しべつ」などと連携することで、農畜産物や加工品を通年販売できるようになったところ。

あなたは、今後、所得確保に向けて、6次産業化に取り組む意向はありますか。

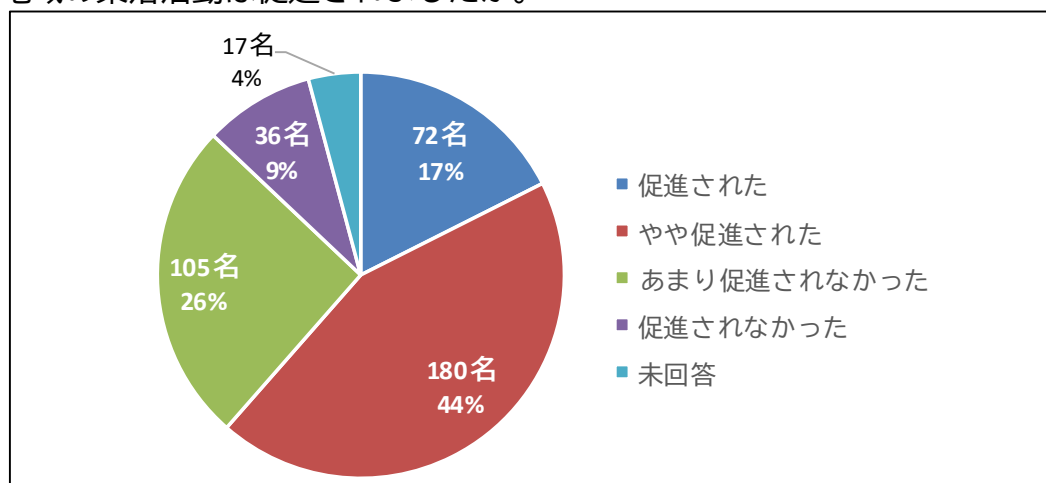


「取り組む予定はない」が78%を占めており、多くの農業者は現状継続としているが、「取り組みたい」が15%を占めていることから、引き続き、関係機関と連携を図る中で、推進していく必要がある。

【設問 10】

本市では、農村環境の維持増進に向けて、農地の保全管理や景観形成活動など、地域の集落組織が行う多面的機能を保全する活動を支援してきました。

地域の集落活動は促進されましたか。

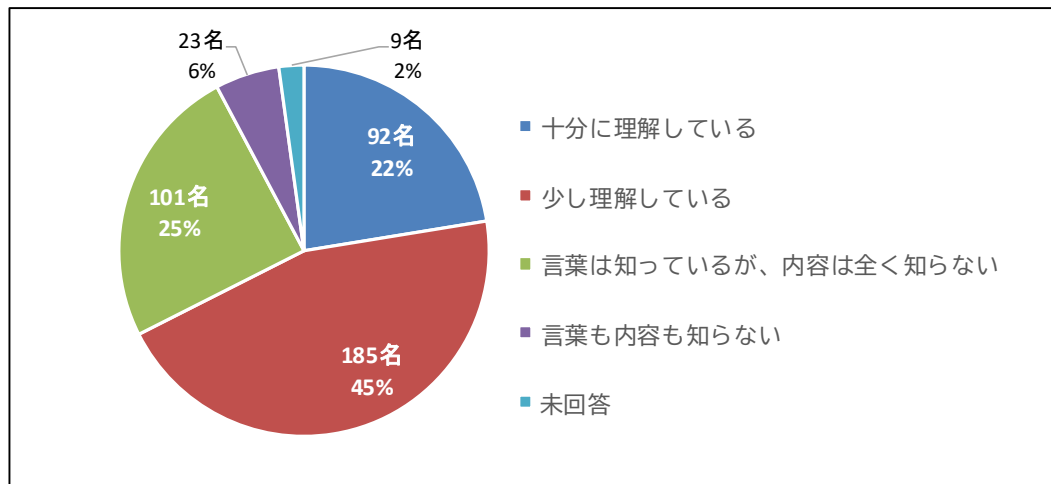


「促進された」「やや促進された」が61%を占めていることから、農村環境の維持増進に向けて、一定程度推進出来ている。

【設問１１】

本市における家族経営協定の推進については、農業委員会広報誌や市ホームページを通じて情報発信を行ってきました。

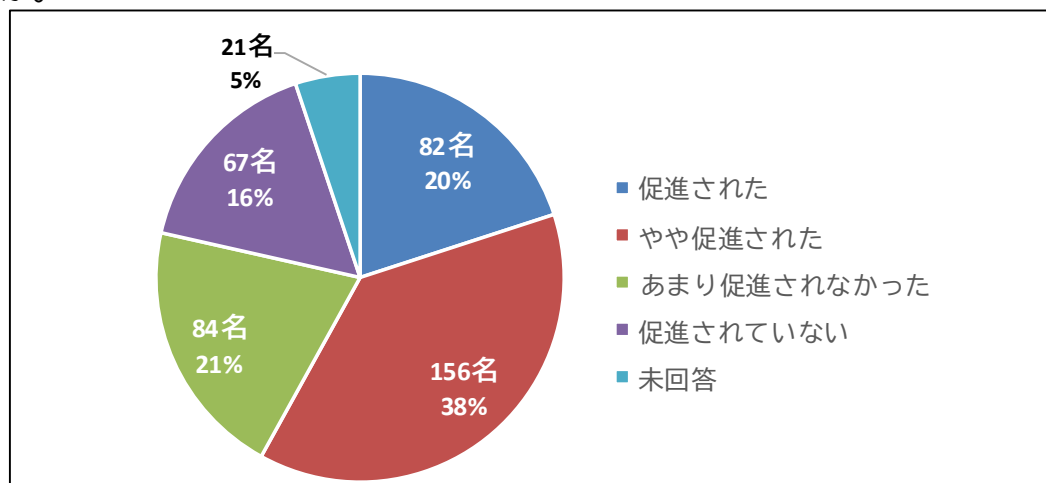
あなたの家族経営協定に対する理解度はどれくらいですか。



「十分に理解している」、「少し理解している」が67%を占めていることから、引き続き、各関係機関と連携する中、周知を行っていく必要がある。

【設問１２】

本市における土づくりの取り組みとして、輪作体系及び環境保全型農業の確立を目指すため、てん菜や馬鈴薯の生産振興、中山間地域等直接支払交付金を活用した堆肥施用事業などを行ってきました。あなたの土づくりは促進されましたか。

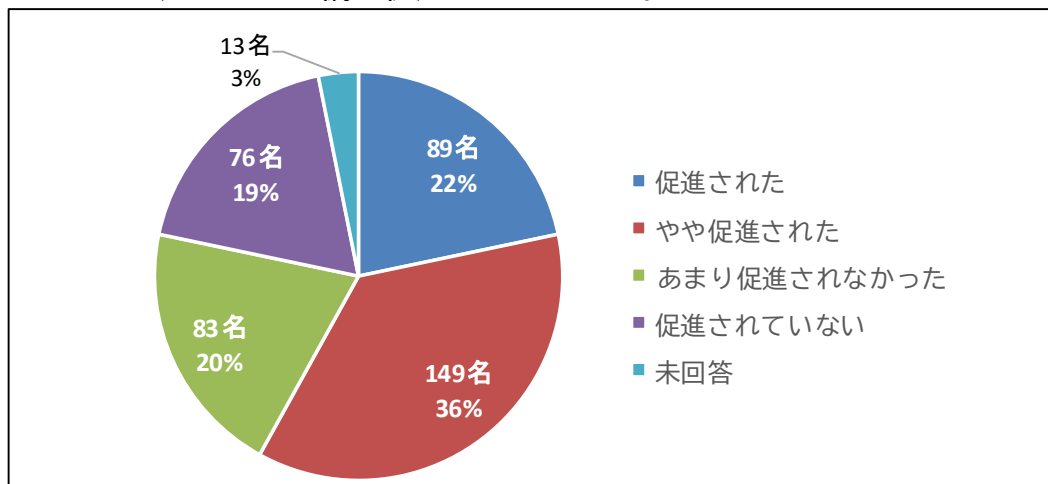


「促進された」、「やや促進された」が58%を占めており、土づくりや輪作体系の確立について、一定程度推進できていると考えられる。

【設問１３】

本市では、生産基盤の整備に向けて、国営・道営事業での基盤整備、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用し、簡易な基盤整備や暗渠整備、用排水路の補修を推進してきました。

あなたの生産基盤の整備は促進されましたか。

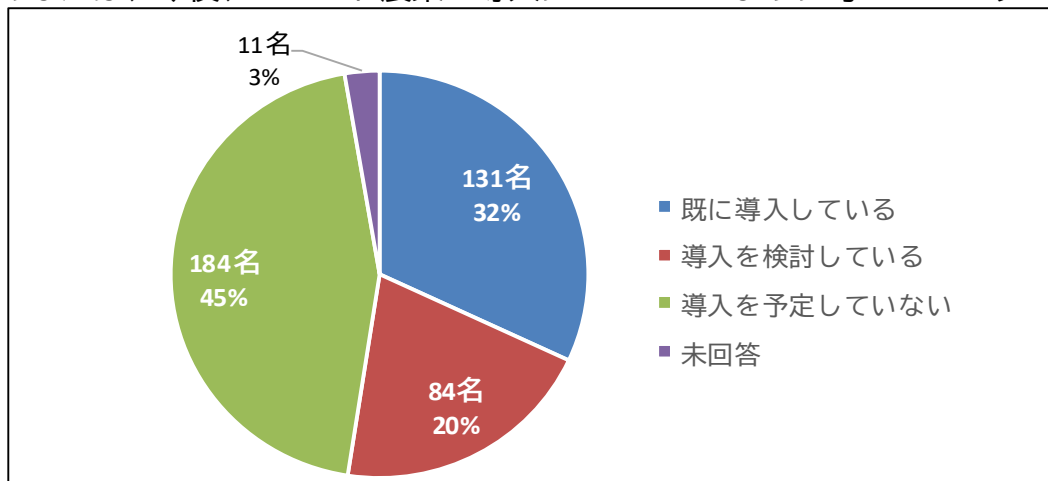


「促進された」、「やや促進された」が58%を占めており、生産基盤の整備について、一定程度推進できていると考えられる。

【設問１４】

本市では、これまで国や道、各関係機関と連携する中、GPSガイダンスを活用し、農業機械の効率的な自動走行に対する支援などスマート農業を推進してきました。

あなたは、今後、スマート農業の導入についてどのように考えていますか。

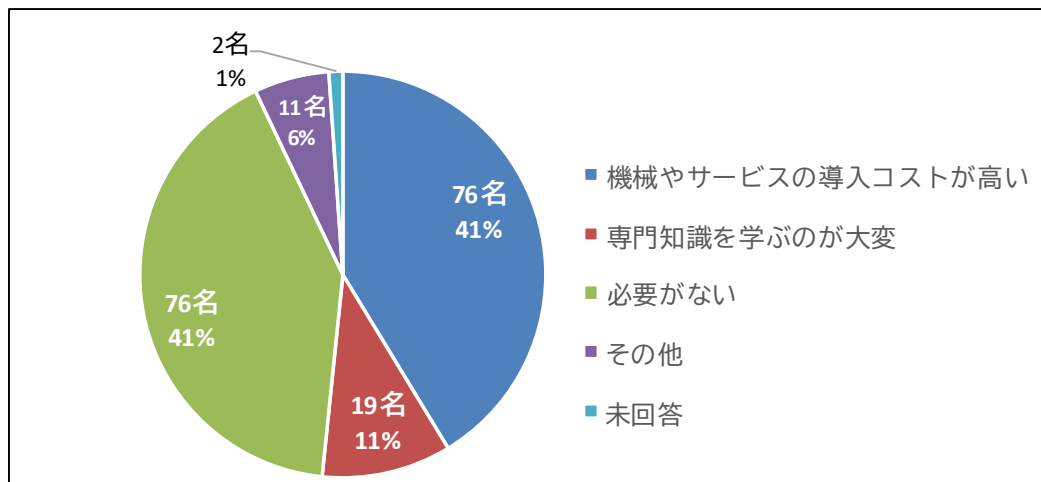


「既に導入している」、「導入を検討している」が52%を占めていることから、一定程度推進できているが、「導入を予定していない」が45%を占めていることから、引き続き、各関係機関を連携して推進していく必要がある。

【設問１５】

設問１４で、「③ 導入を予定していない」と回答された方にお伺いします。

スマート農業を導入しない理由として、一番近いものを一つだけ選んでください。

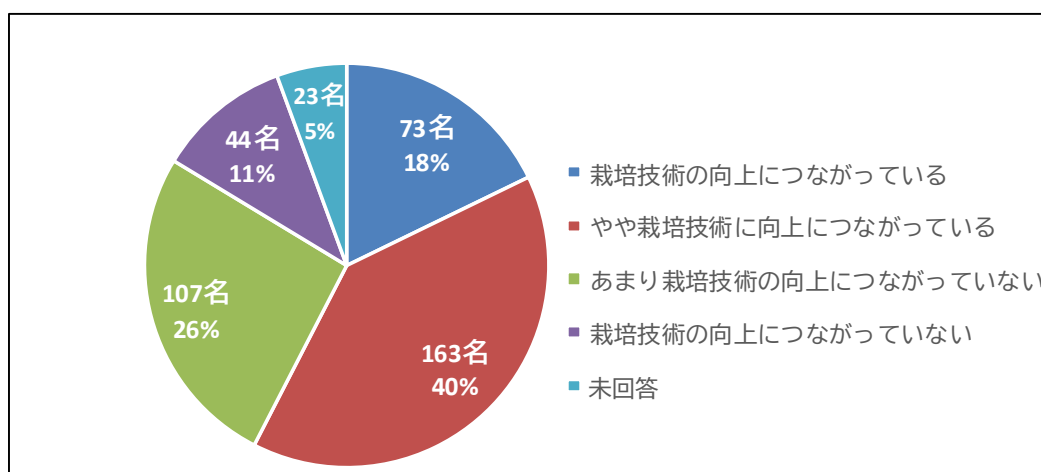


「導入コストが高い」、「専門知識を学ぶのが大変」が52%を占めていることから、引き続き、関係機関と連携した支援を推進していく。

【設問１６】

本市では、毎年、普及センターや関係機関と連携のもとで栽培試験を実施する中、試験結果をまとめた「農作物試験展示ほ成績書」を各戸へ配布するなど栽培技術の普及を推進してきました。

これらの取り組みについて、あなたの栽培技術向上につながりましたか。

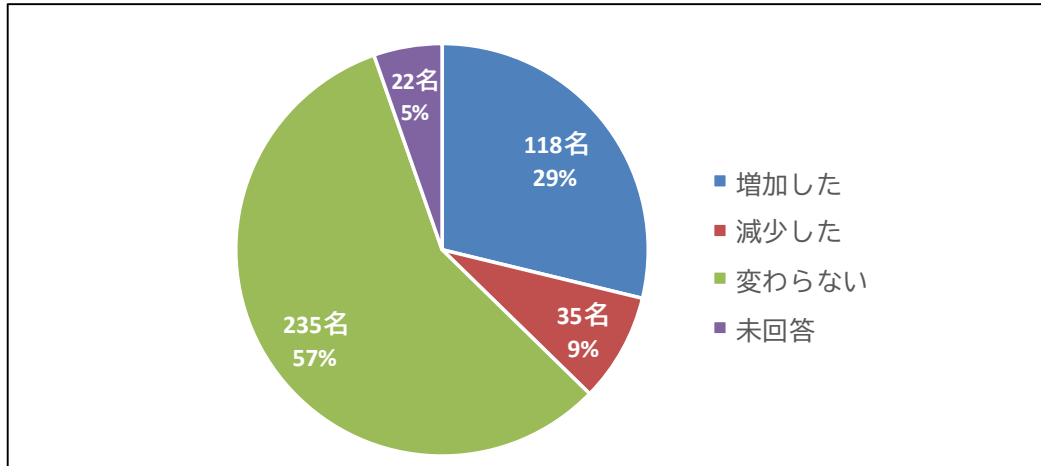


「栽培技術の向上につながっている」、「ややつながっている」が58%を占めていることから、一定程度、栽培技術等の普及・推進がされている。

本市では、これまで士別市有害鳥獣被害防止対策協議会において、有害鳥獣による農作物の食害被害防止や捕獲従事者の担い手対策の推進をしてきました。以下の問について、あなたの考えを回答ください。

【設問１７】

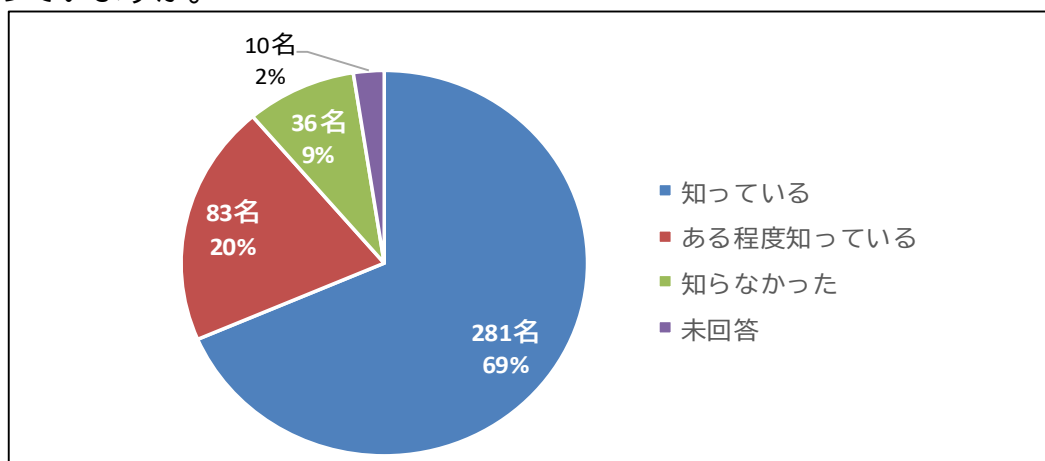
令和５（２０２３）年に、あなたが受けた有害鳥獣の食害被害は、令和３（２０２１）年と比較して、どうでしたか。



「増加した」、「変わらない」が86%を占めていることから、引き続き、士別市有害鳥獣被害防止対策協議会等の関係機関と連携し、農作物の食害被害防止や捕獲従事者の担い手対策を推進していく必要がある。

【設問１８】

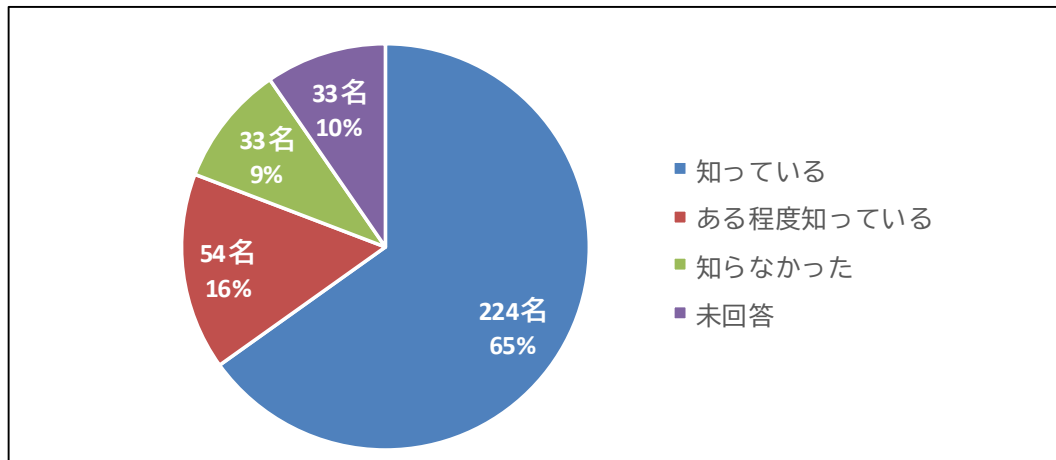
あなたは、市や北ひびき農協で、狩猟免許取得に対する支援制度があることを知っていますか。



「知っている」、「ある程度知っている」が89%を占めていることから、十分に周知がされているものと考えられる。

【設問１９】※中山間士別市集落の方への設問です。

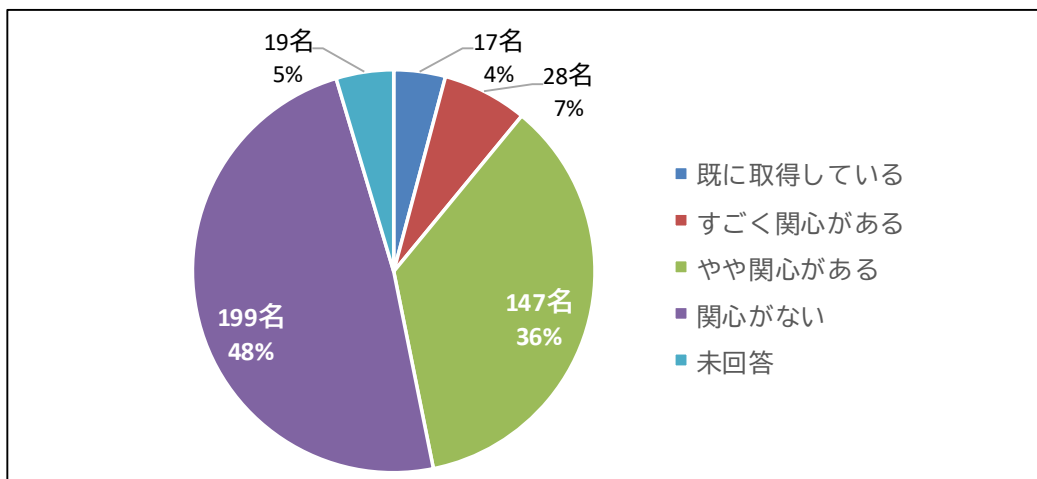
あなたは、中山間活性化事業で、狩猟免許取得事業や電牧柵の設置事業があることを知っていますか。



「知っている」、「ある程度知っている」が81%を占めていることから、十分に周知がされているものと考えられる。

【設問２０】

あなたは、自身の圃場での食害被害防止のため、狩猟免許取得への関心がありますか。

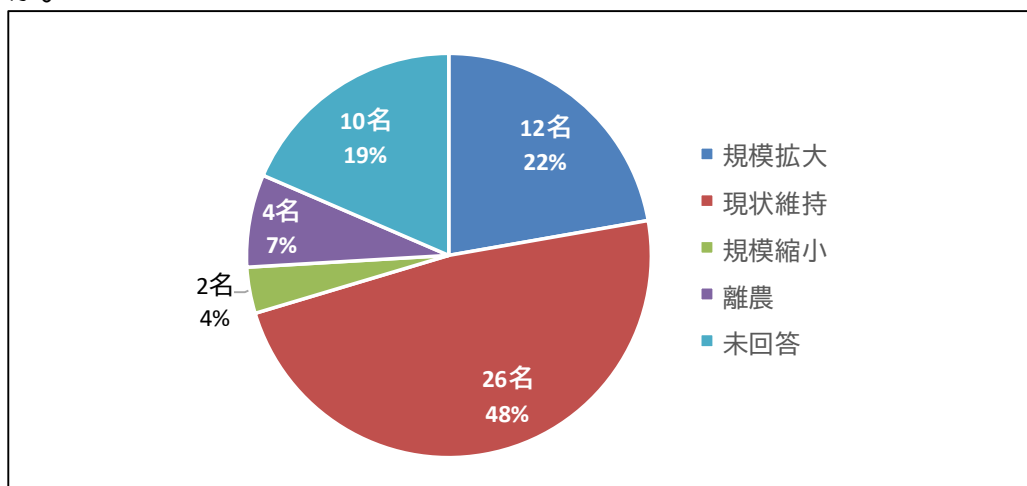


「すごく関心がある」、「やや関心がある」が43%を占めていることから、関係機関と連携する中、周知を行っていく必要がある。

【設問２１】※酪農・畜産農家の方への設問です。

本市では、これまで国等の事業を活用し、施設整備や機械導入といった規模拡大を推進してきました。

あなたの経営について、今後（１～５年程度）どのようにしようと考えていますか。

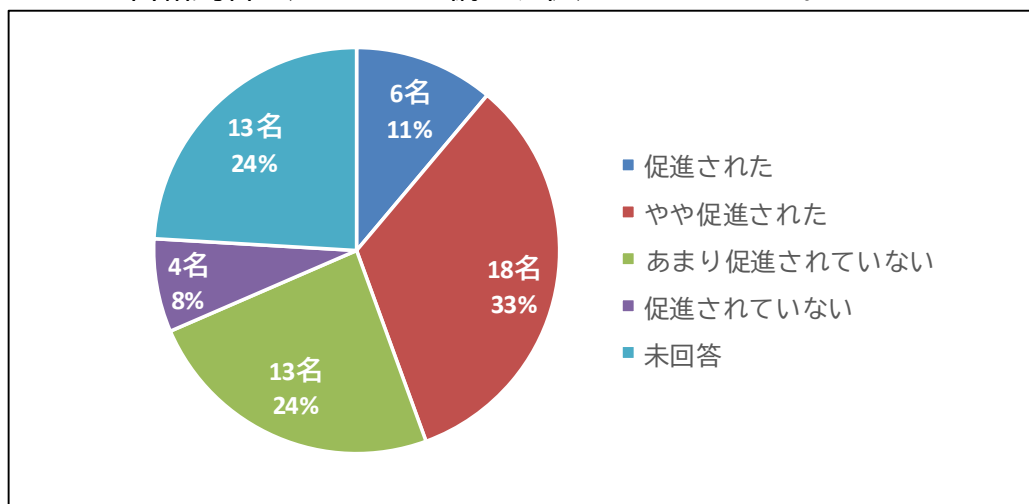


「規模拡大」や「現状維持」が70%を占めているが、「規模縮小」、「離農」が11%を占めていることから、引き続き、担い手対策を推進していく必要がある。

【設問２２】※酪農・畜産農家の方への設問です。

本市では、これまで自給飼料生産基盤の改善に向けて、草地畜産基盤整備事業の推進を行ってきました。

あなたの自給飼料生産基盤の整備は、促進されましたか。



「未回答」を除くと、「促進された」、「やや促進された」が約58%を占めていることから、自給飼料生産基盤の整備が一定程度促進されたと考えられる。

【設問２３】

農業をされていて思っている事など、全体を通して御意見があれば記載ください。（自由記載 一部抜粋）

【担い手の確保・育成に関すること】

- ・農業従事者は、30年後には半分以下になると言われている。国と地方自治体が強固に連携して、担い手の確保や農業予算を減少させないようにしていく必要がある。
- ・新規就農者への経営支援（新たな作物、設備導入への市独自の補助制度など）を行ってほしい。
- ・3年後に離農するので今後のことはあまり関心が無い。
- ・ここ数年、地域の離農する人が多く、1戸当たりの面積が増えている。10～20年後には買う人がいなくなると思う。

【労働力の確保に関すること】

- ・労働力不足が今後も続く傾向の様で、担い手不足で農業人口が減り、日本の食料自給率の低下を招き、将来が不安。

【酪農に関すること】

- ・酪農の大規模化に対する助成事業等が有れば地域の酪農は発展すると思うので、何とかしてほしいです。

【農業・農村の有する多面的機能の維持に関すること】

- ・無人ヘリの種子バラマキを中山間でみてほしい。
- ・農村環境増進も少子高齢化のため整備活動参加（花一杯活動等）ができない。また、各組織の役員選出が重複するなど活動に障害がでてきている。このままでは農村活動も含め、すべて10年後には活力がなくなる。

【農作物の安定生産に関すること】

- ・土別市の根幹作物である甜菜に対する支援を継続、向上をお願いしたい。土作りにおいては堆肥の施用が有効であると理解しているが、緑肥を積極的に取り組むことが大事だと思う。
- ・肥料高騰や燃油高等対策など、その折々に対策、支援はありがたいと思う。
- ・資材や肥料の高騰はかなり厳しい。

【基盤整備に関すること】

- ・人手不足や機械作業の農作業効率向上対策として、上士別や中士別等で進めている大規模水田造成等の土地基盤整備が必要になってくると考える。
- ・大雨や長雨など自然災害に対応すべく、基盤整備や暗渠整備、道路排水の整備をお願いしたい。
- ・農業インフレに強いと思います。

【有害鳥獣に関すること】

- ・有害鳥獣について、畦畔を直すのに何か（中山間など）助成はないか。キツネが畦畔に穴を掘って巣をつくる。そのため、何度も畦畔を修復している。
- ・設問 20 の件について、狩猟免許で有害鳥獣でやっても後の処理が嫌です。
- ・令和 6 年春から、自宅から 100m の所でクマの被害があった。

【補助金に関すること】

- ・補助事業が少ない。あっても「田」が有利な事業ばかり。これからは一般畑が有利な事業が多くなるべきである。採択されにくい事業では、あまり意味がないと思う。採択される条件が難しすぎる。
- ・小規模な面積ですが、事業支援や補助金などの申請方法がよくわからない。自分が受けられる条件に達しているかわからないので、支援を受けていいか知りたい。
- ・傾斜地が多く、1 枚の面積が 1 反満たない所や大型農機具や車両が渡りにくい橋など色々な面で不便。本市では、個人のためには動きません（動いてくれません）でした。農地を守れと言われても限度がある。本市の農機具の補助金は手を挙げてても皆無です。
- ・令和 8 年以後が心配です。